



令和6年 7月28日(日)
12:00 開演 (11:00 開場)

二十五世観世左近記念 観世能楽堂

前売券：販売中

料金：全席指定(税込)

S席 10,000円 A席 9,000円 B席 8,000円

C席 7,500円 学生席 2,500円 (25歳以下、要学生証提示)

- ・午前11時15分より、本舞台にて当日の演目の解説をいたします。お気軽にご参加ください。
- ・当日券をご用意できる場合は午前10時45分より発売いたします。

主催：公益財団法人十四世六平太記念財団

協力：一般社団法人喜多流職分会

助成：文化庁文化芸術振興費補助金 (舞台芸術等総合支援事業 (公演創造活動)) 独立行政法人日本芸術文化振興会

喜多流自主公演

令和六年七月

綾 夕 賀
鼓 顔 茂
大 塩 高
村 津 林
定 圭 呻
二

令和6年度 喜多流自主公演について

喜多能楽堂改修工事の為、令和6年度自主公演(令和6年4月~令和7年3月)の会場は 観世能楽堂 となります。

- ◆ 指定席券販売中
- ◆ 令和6年度は全7回公演です。
- ◆ 令和6年度 喜多流自主公演年間優待券(税込) 発売中
7枚綴 56,000円 / 5枚綴 40,000円
- ◆ 会場 観世能楽堂

観世能楽堂ホームページ ▶▶▶



チケット予約購入のご案内

インターネット

喜多能楽堂ホームページ <http://kita-noh.com/>
(24時間対応、要登録・無料)

【お受取り・お支払い】

① セブンイレブン

ご予約の際画面に表示された番号をレジにご提示の上チケットをお受取りください。お支払いは現金またはクレジットカードをご利用いただけます。ご予約の際クレジットカードで先にお支払いを済ませていただくことも可能です。

電話予約

喜多能楽堂事務局 TEL. 03-3491-8813
(午前10:00~午後6:00 休館日あり)

【お受取り・お支払い】

① セブンイレブン

ご予約の際お伝えする番号をレジにご提示の上、チケットをお受取りください。お支払いは現金またはクレジットカードをご利用いただけます。

② 郵送

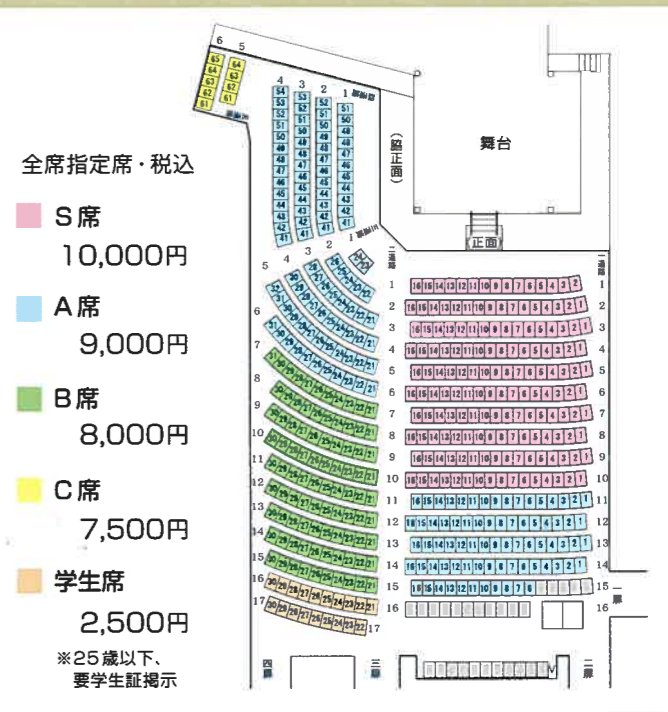
チケット代金と手数料を指定の銀行口座にお振込みください。入金確認後、簡易書留にてチケットをお届けいたします。

- ※ お受取り・お支払い方法によって別途手数料がかかります。ご予約の際ご案内いたします。
- ※ ご予約いただいたチケットのキャンセル、変更はできません。

ご注意

- ・ロビーが混雑することがありますので、できるだけ開場時間に合わせたのご来場をお願いいたします。
- ・開演中の途中入場はお断りいたします。
- ・未就学児童のご入場はご遠慮ください。
- ・やむを得ない事情により出演者が変更になる場合がございます。
- ・許可なき写真・ビデオ撮影、及び録音はお断りいたします。
- ・客席での携帯電話やスマートフォンなど音や光の出る電子機器のご利用はお断りいたします。
- ・能楽堂内に食堂はございません。GINZA SIXまたは近隣の飲食店をご利用ください。
- ・観世能楽堂は全館禁煙です。屋外喫煙所をご利用ください。
- ・お席を離れる場合は貴重品、お手回り品にご注意ください。盗難・紛失についての責任は負いかねます。
- ・係員の指示に従っていただけない際には退場していただく場合がございます。

自主公演観客席御案内



会場案内

二十五世観世左近記念 観世能楽堂

〒104-0061 東京都中央区銀座6-10-1 GINZA SIX 地下3階
会場に関するお問い合わせ TEL. 03-6274-6579 (観世能楽堂)
観世能楽堂ホームページ <https://kanze.net/>

公演に関するお問い合わせ TEL. 03-3491-8813 (喜多能楽堂事務所)
喜多能楽堂ホームページ <http://kita-noh.com/>



- ・銀座駅 東京メトロ銀座線・日比谷線・丸の内線 A2出口、A3出口より徒歩2分
※ 銀座駅とGINZA SIX地下2階をつなぐ連絡通路がございます
- ・東銀座駅 東京メトロ日比谷線・都営浅草線 A1出口より徒歩3分
- ・有楽町駅 JR山手線・京浜東北線・東京メトロ有楽町線 銀座出口より徒歩10分
- ・車でお越しのお客様 GINZA SIX内に併設の駐車場がございます。詳しくはGINZA SIXホームページにてご確認ください。
- ・能楽堂へは、三原通り側・トラベルローソン横のエスカレーター・エレベーターをご利用いただくと便利です。中央通り側入口からは、能楽堂までの直行エレベーター・エスカレーターはございません。
- ・土曜日・日曜日・祝日の中央通りは、歩行者天国となり、平日と異なりますのでお車で来場の際はご注意ください。

七月自主公演番組

能

後シテ連・天女 狩野祐一
前シテ連・里女 高林昌司
後シテ・別雷神 高林呻一
前シテ・里女

賀茂

ワキ・神職 大日方 寛
ワキ連・従者 舘田善博
ワキ連・従者 野口能弘

大鼓 柿原孝則 太鼓 小寺真佐人
小鼓 飯富孔明 笛 杉 信太郎

アイ・賀茂明神の末社 飯田 豪

後見 香川靖嗣
松井 彬

地謡 谷 友矩 栗谷充雄
友枝真也 狩野了一
大島輝久 中村邦生
佐藤寛泰 友枝雄人

狂言

栗焼

シテ・太郎冠者 野村万作

アド・主 野村裕基

休憩（二十分）

能

後シテ夕顔の上の霊 塩津圭介
前シテ・女

夕顔

ワキ・旅僧 村瀬 提

大鼓 柿原光博 笛 一噌隆之
小鼓 幸 信吾

アイ・五条辺の者 中村修一

後見 塩津哲生
谷 大作

地謡 高林昌司 佐々木多門
佐藤陽 金子敬一郎
友枝真也 長島 茂
谷 友矩 内田成信

休憩（十分）

能

シテ連・女御 栗谷浩之
後シテ・前同人の霊 大村 定
前シテ・庭掃きの老人

綾鼓

ワキ・臣下 宝生常三

大鼓 佃 良勝 太鼓 大川典良
小鼓 曾和正博 笛 小野寺竜一

アイ・臣下の従者 内藤 連

後見 友枝昭世
内田安信

地謡 金子龍晟 佐々木多門
佐藤陽 長島 茂
佐藤寛泰 出雲康雅
狩野祐一 大島輝久

附祝言

終了予定時刻 十七時十五分頃

賀茂（かも）

播州室の明神に仕える神職が都の賀茂社に参詣する。川辺に白羽の矢をたて注連縄を張った壇を見つけ、水汲みに来た里女に調れを尋ねると、この矢はご神体であると言う。その謂れは、昔この賀茂の里に住む秦氏の娘が川で神に捧げる水を汲んでいると、白羽の矢が一つ流れて来て水桶に止まった。拾い上げて家の軒に挿しておいたところ、夫がいないのに女は身籠り、男子を産んだという。男子が三歳になったとき、人々が父を尋ねると男子は一座の誰も指さずに軒に挿してある矢を指した。矢はたちまち雷となり天に昇って去った。別雷神がこれであり、その母もまた神として祀られている。と語り、水を汲むと、自分は実は神であることを仄めかし姿を消す。（中人）

神職の前に御祖神が天女の姿で現れ舞を舞い、別雷神は雷神の姿で現れ、五穀成就を祈り国土を守る神威を示すと、天上へと帰ってゆくのだった。（約九十分）

栗焼（くりやき）

知人から見事な栗を買ったので、大勢の客に振る舞おうと思つて、太郎冠者に栗焼きを命ずる。数を間違えぬように気を付けて焼くように命ぜられた太郎冠者は、台所で丁寧に栗を焼き始める。焼くうちにいかにも美味しそうな香りが漂い、つい一つを食べてしまう。一つ食べるとあまりの美味しさに二つ三つと止まらなくなり、とうとう全部食べてしまう。主人への言い訳の面白さもあるが、何よりも栗の弾ける有様や、焼きたての熱い皮をむく有様などを、言い回して語る狂言独特の話術の醍醐味が、存分に楽しめる曲である。（約三十分）

夕顔（いうがお）

豊後国から旅を続けていた僧が都の五条辺りを通ると、あずまやから女の歌声が聞こえる。僧が声をかけると女は、ここは源氏物語に書かれた「何某の院」であるという。更に女は、夕顔と光源氏が結ばれた時のことから、何某の院に泊まった夜に夕顔が物怪に憑かれて亡くなってしまったことを語り、姿を消す。（中人）

僧が読経をして弔っていると、夕顔の霊が現れて、恋に落ちて心を奪われたこの迷いを晴らしてほしいと僧に頼み、昔を思い出して舞を舞うと、妄執を離れて成仏できることを喜び消え去るのであった。（約九十五分）

綾鼓（あやのつづみ）

筑前国木の丸御殿の庭掃きの老人が、女御の姿を垣間見て恋慕の情を抱く。それを聞いた女御は不憫に思い、臣下を通して、池辺の木に掛けた鼓を打つて、その鼓の音が皇居に聞こえればもう一度姿を見せよう」と告げる。老人は喜び鼓を打つが、通常と異なり「綾」が張られたその鼓は音が出ない。なぶられた老人は、嘆き悲しみ、池に身を投じて恨み死ぬ。（中人）

その噂を聞いた臣下が女御へ伝える。池のほとりへ赴いた女御の前に老人の怨霊が現れ、恨みを述べ綾の鼓を打つと責め立てる。逃げ惑い岸辺に伏した女御に未だ恨みを残したまま、老人の霊は音もなく消えてゆくのだった。（約七十分）

令和六年 八月十八日（日） 自主公演番組予告

令和六年 八月十八日（日） 正午始

●会場 観世能楽堂

●前売券販売中

歌 占 塩津 哲生

玉 葛 佐藤 陽

紅葉狩 内田 成信